

国登録記念物の登録について

平成29年6月定例会（付託）
防災対策特別委員会資料
教育委員会

文化審議会（会長 馬淵明子）は、平成29年6月16日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、「南海地震徳島県地震津波碑」の登録記念物の登録について、文部科学大臣に答申しました。

- 名 称 南海地震徳島県地震津波碑
- 徳島市1基 おきのすえび す じんじやひやく どいし（沖洲蛭子神社 百度石）
 - 小松島市1基 あかいしとようらじんじやせき ひ（赤石豊浦神社石碑）
 - 阿南市3基 つばきはらまんじんじやじよう や どう（椿八幡神社常夜燈，他）
 - 那賀町1基 な か みようほう じ こうしんとう（那賀妙法寺庚申塔）
 - 美波町2基 ひがし ゆ き うらしゆうてい ひ（東由岐浦修堤碑，他）
 - 牟岐町4基 て ぼ じまかんえい じ せ き ひ（出羽島観栄寺石碑（旧・再建碑），他）
 - 海陽町7基 あさかわてんじんじやせき ひ（浅川天神社石碑（旧碑），他）

以上3市4町 19基

特 徴

徳島県内の南海地震津波に関する地震津波碑は、平成28年度の調査によって39基が確認された。

地震津波碑には津波被害に関する記念碑、犠牲者への鎮魂や追悼などを記した供養碑の他、減災への教訓碑もあり、文化的価値は極めて高い。

その内、すでに町において指定されているものや、建立後50年に満たないもの等を除いた19基が、全国で初めて国の登録記念物に答申された。

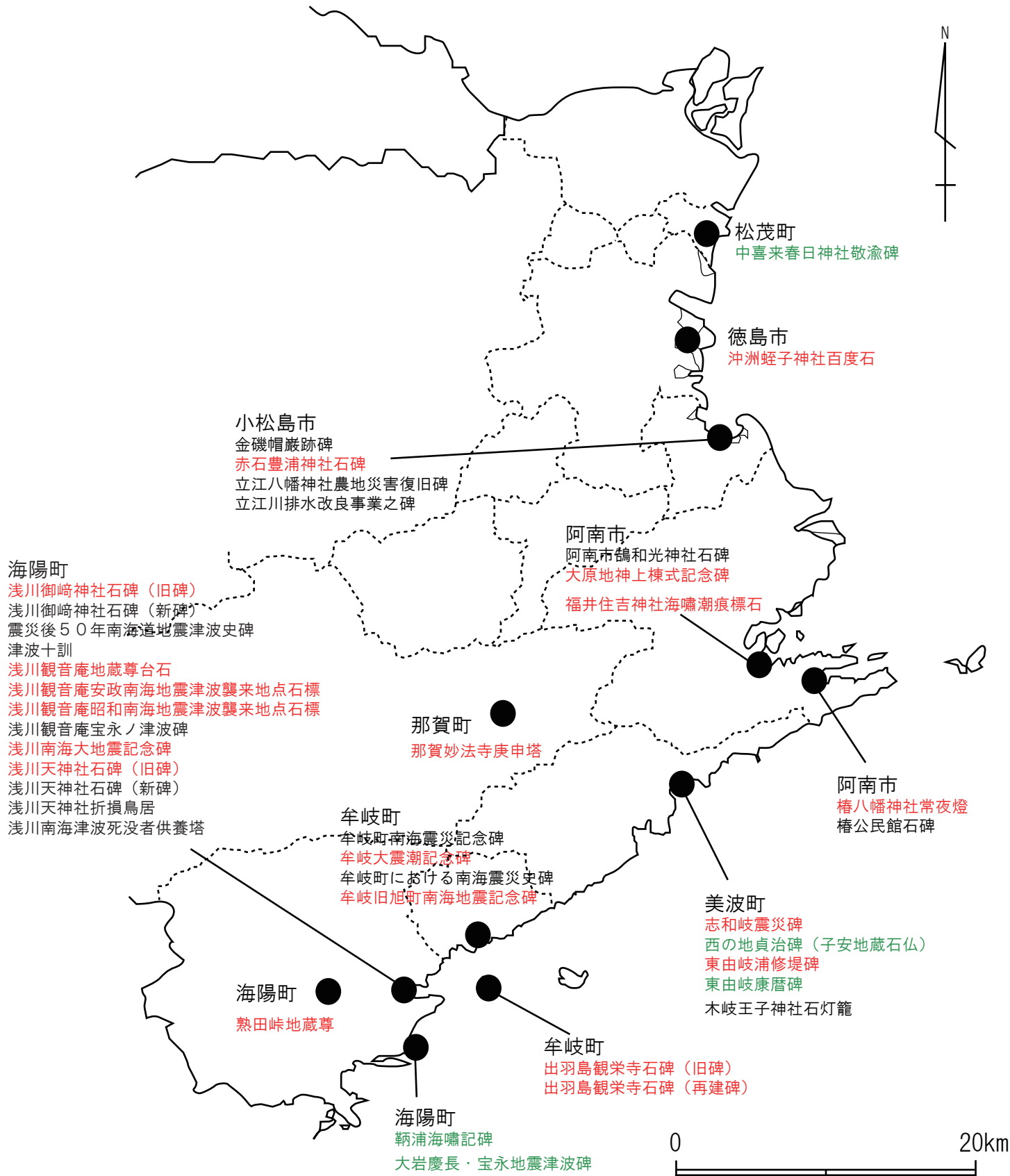
宝永南海地震（1707）に関連するもの1基、安政南海地震（1854）に関連するもの13基、昭和南海地震（1946）に関連するもの5基である。



浅川天神社石碑（旧碑）



東由岐浦修堤碑



南海地震徳島県地震津波碑分布図